

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学 期	後期	教室名	1年生教室
担 当 教 員	日下部 麻美	実務経験と その関連資格	看護師として重症心身障がい者病棟・養護学校で勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
子どもを発達していく存在としてとらえ、子どもが家族・社会の中で健やかに成長・発達を遂げる存在であると理解することが出来る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 80%、提出物 20% ※詳細は第1回授業で提示します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(概論すべて、臨床総論第1・2章) 参考書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院						
《授業外における学習方法》						
次回授業の予習プリントがある場合は、授業の最後にプリントを配布しますので、教科書を参考にして空欄を埋めてから授業に臨んでください。						
《履修に当たっての留意点》						
予習プリントは授業で使用しますので持参してください。配布プリントはファイルに閉じ、演習や実習で活用できるようにしておきましょう。楽しんで積極的に参加しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	小児看護の特徴と理念について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第1章を 読む(30分) 事後学習:授業の復習 (30分)	
		各コマに おける 授業予定	小児看護の特徴と理念① 小児看護の対象、小児看護の目標・役割 小児と家族の諸統計、小児看護の変遷、			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	子どもの成長・発達について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第1章を 読む(30分) 事後学習:授業の復習 (30分)	
		各コマに おける 授業予定	子どもの成長・発達 成長・発達とは(発達理論) 成長・発達の進み方と評価			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	新生児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第2章を 参考に予習プリントをま とめる(30分) 事後学習:授業の復習 (30分)	
		各コマに おける 授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護①:新生児			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	乳児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第3章を 参考に予習プリントをま とめる(30分) 事後学習:授業の復習 (10分)、	
		各コマに おける 授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護②:乳児			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	乳児期の特徴について述べるができる。 幼児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第4章を 参考に予習プリントをま とめる(30分) 事後学習:発表準備(30 ~60分)	
		各コマに おける 授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護②:乳児 各期の子どもの成長・発達と看護③:幼児			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第4章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護③:幼児		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	学童期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第5章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護④:学童		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	思春期・青年期のの特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第5章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護⑤:思春期・青年期		